

22:13 ミカヤを呼びに行った使者はミカヤに告げた。「いいですか。預言者たちは口をそろえて、王に対して良いことを述べています。どうか、あなたも彼らと同じように語り、良いことを述べてください。」

22:14 ミカヤは答えた。「【主】は生きておられる。【主】が私に告げられることを、そのまま述べよう。」

22:15 彼が王のもとに着くと、王は彼に言った。「ミカヤ、われわれはラモテ・ギルアデに戦いに行くべきか。それとも、やめるべきか。」彼は王に答えた。「あなたは攻め上って勝利を得なさい。【主】は王の手にこれを渡されます。」

22:16 王は彼に言った。「私が何度おまえに誓わせたら、おまえは【主】の名によって真実だけを私に告げるようになるのか。」

22:17 彼は答えた。「私は全イスラエルが山々に散らされているのを見た。まるで、羊飼いのいない羊の群れのように。そのとき【主】はこう言われた。『彼らには主人がいない。彼らをそれぞれ自分の家に無事に帰らせよ。』」

22:18 イスラエルの王はヨシャファテに言った。「あなたに言ったではありませんか。彼は私について良いことは預言せず、悪いことばかりを預言すると。」

22:19 ミカヤは言った。「それゆえ、【主】のことばを聞きなさい。私は【主】が御座に着き、天の万軍がその右左に立っているのを見ました。」

22:20 そして、【主】は言われました。『アハブを惑わして攻め上らせ、ラモテ・ギルア

デで倒れさせるのはだれか。』すると、ある者はああしよう、別の者はこうしようと言いました。

22:21 ひとりの霊が進み出て、【主】の前に立ち、『この私が彼を惑わします』と言うと、【主】は彼に『どのようにやるのか』とお尋ねになりました。

22:22 彼は答えました。『私が出て行って、彼のすべての預言者の口で偽りを言う霊となります。』主は『きっとあなたは惑わすことができる。出て行って、そのとおりにせよ』と言われました。

22:23 今ご覧のとおり、【主】はここにいるあなたのすべての預言者の口に、偽りを言う霊を授けられました。【主】はあなたに下るわざわいを告げられたのです。」

22:24 ケナアナの子ゼデキヤが近寄って来て、ミカヤの頬を殴りつけて言った。「どのようにして、【主】の霊が私を離れ、おまえに語ったというのか。」

22:25 ミカヤは答えた。「あなたが奥の間に入って身を隠すその日に、あなたは思い知ることになる。」

22:26 イスラエルの王は言った。「ミカヤを捕らえよ。町の長アモンと王の子ヨアシュのもとに連れて行き、

22:27 王がこう命じたと言え。『この男を獄屋に入れ、私が無事に帰るまで、わずかなパンと、わずかな水だけ与えておけ。』」

22:28 ミカヤは言った。「もしも、あなたが無事に戻って来ることがあるなら、【主】は私によって語られなかったということですよ。」そして、「すべての民よ、聞きなさい」と言った。

ミカヤは勇気を持って主のことばを語ります。その内容は説得力がありましたが、自分の考えに固まっていた偽預言者もアハブ王も怒りました。

「思い知るであろう」ということばには、最後に主のみこころが成るとう実感を覚えませぬ。今は不利に感じて、みこころに従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

